２０２５年
３２５号
6月18日（水）

ねんきん越谷

全日本年金者組合越谷支部
〒343-0845
埼玉県越谷市南越谷2-13-49
（越労連内）
TEL・FAX 048-989-2472
E-mail keyaki-n@biscuit.ocn.ne.jp

＜第33回定期総会を開催します＞

＜日時＞ 7月２９日（火）１３時１５分
＜場所＞ 越谷市北部市民会館3F
第3会議室

★越谷支部定期総会　１３時１５分～１６時
＜議題＞
1．２０２４年年度活動報告
2．２０２４年度会計報告
3．２０２４年度会計監査報告
4．２０２５年度活動方針（案）
5．２０２５年度予算（案）
6．２０２４年度クラブ活動報告
7．次年度役員選出

★次期役員の立候補を受付けます
支部長、副支部長、書記長、書記次長、執行委員、会計監査の役職があります。
立候補届けをご希望の方は五十嵐書記長（０９０－７８１０－１３４８）まで連絡してください。

★議案書、委任状は7月半ばに配布の予定です。
2025年6月17日　越谷支部執行委員会

前進座歌舞伎公演「裏長屋騒動記」観劇
楽しい！とにかく楽しい！！

6月5日（木）、前進座の歌舞伎公演を見に行ってきました。会場は東京・池袋のサンシャイン劇場。

最寄りの池袋駅から会場までの途中には年金者組合のみなさんが何人も立っていて、案内をしてもらったおかげで、迷わず会場にたどり着くことができました。

演目は「裏長屋騒動記」。

「裏長屋の住人の常識と侍のプライドがぶつかり合い、とんだ大騒動が起こる、可笑しくてちょっぴり苦い物語。

庶民目線が貫かれる山田洋次ワールドに、今回「らくだの馬」役で松竹新喜劇の曾我廼家貫太郎をお迎えし、喜劇としてパワーアップした舞台」（『前進座パンフレット』）。

舞台の配役17人の劇は当然生ですが、４人の唄、４人の三味線、７人の囃子もすべて生演奏。それらが混然一体となり劇と音楽が流れていく前進座の世界にすっかり魅了され、公演時間の３時間があっという間に過ぎました。

何もかもが、とにかく楽しい公演でした。

舞台終了直前には、映画「男はつらいよ」の主題曲が三味線で突如として演奏されるという具合の演出です。

６月５日は埼玉県の年金者組合の貸切公演日。８００席あるサンシャイン劇場のほとんどの席を埼玉の年金者組合員が占めた景色はたいへん感激的で、前進座にたいする埼玉の年金者組合員の熱い思い入れを実感しました。私は前進座の舞台は初めてでしたがすっかり魅了され、リピーターになりそうです。

なお、右の写真は「裏長屋騒動記」の緋鯉の半次（左）と屑屋久六（右）が酒を飲みかわす場面です。

（２班・吉田正美）

点睛
「マクロ経済スライド」はただちに廃止を！

５年に１度の年金改革法案が５月30日、自民、公明、立憲民主党の賛成多数で衆議院本会議で可決され、６月13日参議院で可決されましたました。３党合意の修正案が審議入りしたのはたった３日間です。異例のスピード採決です。法案審議で最大の焦点となったのが、毎年の年金改定率を物価や賃金の伸びより低く抑えることで年金を実質減額する「マクロ経済スライド」の仕組みにより、今の高齢者の年金は勿論、現役世代が将来受け取る年金まで減らされていく問題です。

自、公、立民３党は、衆議院での修正によって年金削減に歯止めがかかり「基礎年金の底上げ」がされると説明しています。

修正は５年後に制度のあり方を「検討」し、厚生年金の積立金を基礎年金の給付維持に活用することなど、「マクロ経済スライド」の終了を早くする為の措置を行ったとしています。たしかに、この措置が実行されれば、将来の年金削減幅は小さくなりますが、年金が今より減ることに変わりはありません。措置の実行後も「マクロ経済スライド」は温存され、経済状況が過去30年と変わらない場合、２０３７年までの12年間に年金が10％削減されるというのが政府と３党が示す想定です。年金積立金は総額２９０兆円がたまっています。

年金積立金を活用しながら高額所得者の保険料負担を頭打ちにする優遇を見直すなどの改革を行えば、全世代に「物価・賃金に応じて引き上がる年金」を保障する事は可能です。５年と言わず今すぐ活用し、年金削減をとめるべきです。

多くの女性が低年金、無年金者（26万人）の状態におかれ、単身女性の44％が貧困層で、物価高が続くなか抜本的改善は待ったなしです。就職氷河期世代など今後も増える可能性もあります。

「年金削減は即時中止」それには「マクロ経済スライドはただちに廃止！」の世論と運動を広げるときです。

（不破　千代江）

＜二つのサークル誕生＞　（２面参照）
①「折り紙サークル」　②「麻雀を楽しむ会」　皆さんの参加で成功させましょう！